

筒井 康博 博士 国立遺伝学研究所 変異遺伝研究部門 助教

分裂酵母slrスクリーニングとその機能解析

分裂酵母Rad2はヒトFEN-1のホモログであり、岡崎フラグメントのプロセッシングに関与するフラップ構造特異的エンドヌクレアーゼである。以前に我々のグループは新規組換え修復因子の単離を目的として、このエンドヌクレアーゼ欠損が組換え修復欠損との二重変異が致死になることを利用したslr (synthetically lethal with rad2) 変異スクリーニングを行なった。これまでに、複数の新規遺伝子を同定し、その多くは組換え修復に直接働くことが分かってきた。今回は、組換え修復に直接働くSlr5 (Fbh1) および、組換え修復とは異なり、DNA複製やクロマチン構造の維持に働くと考えられるSlr3 (Mcl1) に関して最近得た知見を紹介したい。

参考文献 Tsutsui, Y., et al.(2005) Genetic and Physical Interactions between *Schizosaccharomyces pombe* Mcl1 and Rad2, Dna2 and DNA polymerase α : Evidence for a Multifunctional Role of Mcl1 in DNA Replication and Repair. *Curr. Genet.* 48, 34-43.

日時: 3月26日(水) 16:00~17:00

場所: 山の畑キャンパス システム自然科学研究科
南棟3F 大講義室

世話人 田上 英明
大学院システム自然科学研究科
(内線5818)